

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応について

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市において新型コロナウイルスの発生が確認され、日本国内においても全国的に感染症が確認されており、患者数は増加の一途を辿っている。

そこで、国及び各自治体では様々な対策を講じているが、現段階において確実な感染拡大防止策及び治療法が確立されておらず、今後、爆発的な感染拡大を伴う大規模な流行につながりかねない状況となっている。

当地域（大町保健所管内）及び周辺地域でも感染症罹患者が発生しており、感染拡大を防止するうえで重要な局面にあることから、大町市の対策を踏まえるとともに迅速な対応を支援するため、大町市議会における対応を以下のとおりとする。

1 市議会としての危機管理

- (1) 市が「新型コロナウイルス感染症大町市対策本部」（以下「市対策本部」という。）を設置したことを受け、大町市議会においても「大町市議会災害対策支援本部行動指針」（以下「行動指針」という。）に準じ、議員の健康状態の報告及び情報提供等を行うものとする。また、市における状況や対策等を、適時全員協議会において報告を受けることとする。
- (2) 会議等の開催時に、議員、議会事務局職員又は執行部（理事者及び職員）において、新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状（発熱（37.5度以上）、咳、くしゃみ、倦怠感などの症状。以下「疑いのある症状」という。）が見られる場合は、出席の自粛を要請する。
- (3) 議員及び議会事務局職員は、次のとおり感染の予防に努める。
 - ア 手洗い及び咳エチケットを徹底する。
 - イ 毎朝検温を行い、疑いのある症状が見られるかどうか健康状態を確認する。
 - ウ 疑いのある症状が見られる場合は、外出を控え自宅で療養する。
 - エ クラスタ（集団）発生の高リスクの3つの密の条件が同時に揃う場所への外出を避ける。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 換気の悪い密閉空間・ 多くの人々が密集している場所・ 互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる密接した場面 |
|---|

オ 不要不急の外出を自粛するとともに、やむを得ず県外に移動する場合は、あらかじめ議長に申し出ること。

カ 議会棟を訪問する関係者に対し、感染予防対策を確実に実施するよう周知徹底する。

(4) 議員及び議会事務局職員において、本人又は同居の家族に疑いのある症状が見られる場合は必ず議会事務局へ申し出るものとする。

(夜間及び休日の連絡は、宿日直室 22-0420 (市役所代表) へ)

※疑いのある症状が見られた場合には、有症状者相談窓口 (大町保健所 23-6560)、一般相談窓口 (県庁保健・疾病対策課 026-235-7277・026-235-7278) に相談するか、かかりつけ医に連絡の上受診又は自宅での経過観察を確実に行う。

(5) 議会棟に出入りした者が、新型コロナウイルス感染症罹患者又は濃厚接触者であることを確認した場合は、議会運営委員会において議会日程や対応等の検討を行う。

2 執行機関からの情報収集等について

(1) 大町市の状況及び対応について

適時全員協議会において報告を受けることとする。

(2) 理事者等への問い合わせ及び要望等について

各議員による個々の問い合わせ及び要望等は、迅速な対策に影響を与えかねないことから、行動指針に準じ、全員協議会にて協議し、政策調整委員会にて集約した上で、議長から市対策本部に文書で送付する。

3 会議等の開催時における予防策について

(1) 会議における基本的な対応

ア 議員及び職員における感染予防策の実施

イ 議員及び職員は、発言時も含め、マスクの着用に努める。

ウ 机や手すり等の消毒など感染症対策の実施

(2) 本会議の対応

ア 会議中での出入口の扉及び窓を開放

(3) 委員会、協議会の対応

ア 適宜換気及び可能な範囲での出入口の開放

イ 執行部の出席者が多数となる場合は、会場について配慮をする。

(4) 傍聴の対応

ア 議場、全員協議会室及び委員会室内でのマスク着用をお願いする。

- イ 受付時に消毒液による手指消毒を徹底するとともに、申込書に住所、氏名のほか、連絡先の記入をお願いする。
- ウ 感染予防策の注意喚起の掲示
- エ 体調のすぐれない方の傍聴自粛をお願いする。
- オ 席の間隔を空けることをお願いするとともに、離隔確保のため、傍聴人数を制限することをご理解いただく。
- カ 本会議の傍聴は、市ケーブルテレビやインターネット中継の活用をお願いする。
※報道機関についても、上記の対応に準じることとする。

4 行政視察及び議会行事の実施について

- (1) 行政視察については、全国市議会議長会から自粛要請があったことから（令和2年4月1日付全議J1第34号「新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組について」）、大町市議会においても特段の事情がない限り当面自粛とする。また、行政視察の受け入れについても同様とする。
- (2) 管内視察についても、特段の事情がない限り当面延期する。
- (3) 市民との意見交換会についても当面自粛とする。
- (4) 議員研修会等各種議会行事についても、特段の事情がない限り当面自粛とする。
上記に掲げた事項については、必要に応じて議会運営委員会、政策調整委員会又は交流委員会において、実施の適否を検討する。

5 会議における対応

- (1) 議事を運営する者が会議を欠席した場合
 - ア 議長が欠席した場合、副議長が議長の職務を行う。（法第106条第1項）
 - イ 議長及び副議長が欠席した場合、仮議長を選挙し、仮議長が議長の職務を行う。（法第106条第2項）
 - ウ 委員長が欠席した場合、副委員長が委員長の職務を行う。（委第9条第1項）
 - エ 委員長及び副委員長が欠席した場合、年長の委員が委員長の職務を行う。（委第9条第2項）
（法…地方自治法 委…大町市議会委員会条例）

6 今後の対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、見直しを適時行う。
- (2) 本対応を市議会ホームページに掲載し、市民へ周知する。